

エネルギー変換システム研究室

教授・田部豊：昨年度から北大GX先導研究センターの仕事がいくつか入るようになりましたが、改めて、エネルギー、脱炭素のことを自分事として考えている人が少ないことを実感しています。また、最近の中東情勢の悪化を受けて、やはり化石燃料が重要だと、巻き返しを図ろうとする人も少なくありません。環境を犠牲にして獲得してきた過去の成功体験から次のステージへ進むことはなかなか難しそうです。そこで、脱炭素だけでなく、エネルギー安全保障、エネルギー自給率の向上の観点も、再生可能エネルギーの推進のための重要な要素としてアピールするべきと考えます。今年度から教員2人体制に戻りましたが、エネのOB・OG、現役のみんなで一丸となり、新しい未来を切り開き、人々が楽しめる社会のために貢献すること、そしてそのためにすべきことを深く深く考え、実行することを楽しみましょう！

准教授・植村豪：早いもので北大へ着任して7年目となり、札幌での生活と北大での教育研究活動もすっかり日常になりました。キャンパスも日常の活気が戻り、学生の皆さんも授業・研究をはじめとした自由な活動に取り組んでいます。一方、国際情勢の不安定化や、エネルギー価格と物価の上昇が身近なできごととして起こり、我々の日常生活がいかにか繊細なバランスの上に成り立っているか、改めて痛感しています。エネルギー・環境問題についても同様で、学生の皆さんには絶妙なバランス感覚、そして全体を俯瞰する視点を身に付けてもらい、実効性のある行動ができるようにしてほしいと考えています。こうした力を養う教育研究を進めることがエネの重要な役割だと考えています。

